



平成 31 年 1 月 25 日

広島大学ゲノム編集イノベーションセンターを設置について

広島大学は、2 月 1 日、広島中央サイエンスパーク内の広島県の施設である広島産学共同研究拠点に「ゲノム編集イノベーションセンター」を設置します。

近年、目的の遺伝子を狙って改変する技術として、人工 DNA 切断酵素を基盤とする“ゲノム編集 (Genome Editing)”が注目されています。本学では、2013 年から文部科学省の運営費交付金プロジェクトとして「世界をリードする人工ヌクレアーゼ開発拠点」が採択され、山本 卓教授をリーダーとして新しいゲノム編集ツールの開発を行ってきました。2014 年からは、広島大学の自立型研究拠点「ゲノム編集研究拠点」として、独自の遺伝子ノックイン技術などの成果を継続して発表しています。2016 年からは文部科学省・産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA)「ゲノム編集による革新的な有用細胞・動物作製技術の創出」がスタートし、多くの企業・大学等と産学連携を進めています。

さらに、本年度は、文部科学省・卓越大学院プログラム「ゲノム編集先端人材育成プログラム」が採択されるなど、本学は国内のゲノム編集分野を牽引し、高い評価を得ています。

国内の研究においてもゲノム編集コンソーシアム (本学が取りまとめ機関) を前身として、2016 年には日本ゲノム編集学会 (学会長: 山本卓) が設立され、産業界でのゲノム編集技術の適用や、ゲノムを改変した生物に関する規制及び倫理に関する基準構築等を進める中心的な役割を担っているところです。

こうした、これまでの実績を踏まえ、ゲノム編集先端人材の育成、ゲノム編集国産技術及び遺伝子改変新手法の開発、多くの企業との共同研究によるイノベーションや地域産業創出などに取り組み、ゲノム編集イノベーションセンターを国内のゲノム編集分野における教育、研究及び産学連携の中心拠点として発展させ、地域創生に貢献していきます。

【お問い合わせ先】

広島大学学術室 研究企画室 室長 小左古 学
TEL:082-424-5860 FAX:082-424-4592

広島大学ゲノム編集イノベーションセンター

ゲノム編集イノベーションセンター長



【研究開発・人材育成・産学連携】

基礎技術開発部門

ゲノム編集ツール開発、遺伝子ノックイン技術開発等

モデル細胞・動物開発部門

基礎研究から応用研究でのモデル細胞・動物作出

教育部門

ゲノム編集講習、卓越大学院の教育等

産学連携部門

産学連携研究、OPERAでの研究連携

統合生命科学研究科

医系科学研究科

理系・工学系研究科

異分野融合研究
両生類研究センター
臨海実験研究拠点 など

広島大学と教育研究機関・企業・海外機関との連携

研究連携

- ・基礎生物学研究所
- ・理化学研究所
- ・大阪大学 ・徳島大学
- ・京都大学iPS細胞研 など

産学連携

食品企業、製造企業、化学企業、化粧品企業など、OPERA
参画企業及び関連企業

国際連携

- ・米国ハーバード大学
- ・シンガポールDuke-NUS
- ・英国ガードン研究所
- ・米国NIH など